

令和5年度香川県中小企業BCP優良取組認定事業所の主な取組内容

【新規】

認定番号	事業所名	所在地 (業種)	主な取組内容
1	株式会社コート	木田郡三木町 下高岡3222番地 (製造業)	<ul style="list-style-type: none"> ・役員及び従業員全員の自宅住所の想定される被災状況や、本社までの参集時間等を記載したハザードマップを作成している。 ・非常時の優先業務を3段階に分けて選定しており、それぞれに目標復旧時間を定めている。 ・部署及び支店・営業所ごとにリーダー及びサブリーダーを選定しており、責任者を明確にしている。 ・従業員に、備蓄品や災害時の参集に関するアンケートを実施しており、その際に、災害や被災について従業員の家族内で協議するよう促している。 ・災害時に必要となる資格取得を、部署を問わず推進している。 ・(一社)全国道路標識・標示業四国協会の会員企業として、警察と道路標識に関する緊急連絡体制を整備している。
2	本四塗装工業株式会社	高松市西宝町 三丁目5番26号 (建設業)	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、液状化、津波、洪水、高潮、土砂災害など、各災害ごとのハザードマップに、本社及び社員住居、代替連絡拠点、協力会社をプロットして被害想定を行っている。 ・災害時の安否確認を行う際の、実施者、対象者、実施方法を明確に定めている。 ・年に4回行っている工事部打合せ会議において、BCP研修会を組み込むとともに、BCPの運用ができていのかどうかチェックしている。 ・協力会社と覚書を交わし、災害時の連携と連絡体制を構築している。 ・従業員の多能工化に向けて、資格取得費用の助成や奨励金、手当の交付等を行っている。

【更新(1回目)】 ※令和2年度に初回認定

認定番号	事業所名	所在地 (業種)	主な取組内容
3	日東河川工業株式会社	高松市中央町 5番3号 (建設業)	<ul style="list-style-type: none"> ・「業務重要度」、「代替難易度」、「納期影響度」、「利益率」、「工場災害時緊急度」、「社会的影響度」という基準を設けて、重要業務の優先順位を決定している。 ・水、食料以外にも、養生シート、土嚢、軽油、セーフティコーンなどの必要資材や燃料、発電機を備蓄している。 ・BCP策定委員会を設置し、年に一度、BCPの見直しや改善を実施している。 ・工場内の設備の代替えとして一覧を作成し、協力企業の所有機材も把握し、リスト化している。 ・月に1回、社内で安全教育訓練を実施しており、社外講師の指導も受けながら、安否確認訓練や避難訓練、普通救命講習等の各種訓練を積極的に行っているほか、各営業所ともWEBで中継して訓練を実施している。

4	三和工業株式会社	善通寺市仙遊町2-5-18 (製造業)	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役、執行役員、部長を構成員としたBCP委員会を設置し、BCP運用のチェック体制を整えている。 ・災害時への備えとして、交代勤務、在宅勤務、多能工化の環境を整えている。 ・防災訓練実施後に反省会を開催し、セルフチェックシートを活用して問題点及び改善点の整理を行っている。 ・就業時間内、就業時間外などの状況に分けてBCPの手順を策定している。 ・災害時の資金調達の財務診断を行い、事業中断の際の損害に対する必要資金について検討している。 ・災害時には、グループ企業の従業員も含めて安否確認を行えるよう体制を整えている。
5	株式会社 建設マネジメント四国	高松市福岡町3丁目11番地22号 (サービス業)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着する社会資本整備にかかわる事業法人として、新入社員研修等にBCP教育を組み込み、早期から社員の意識向上を図っている。 ・災害時でも途絶しにくい社内専用の通信手段を確保し、事業継続に向けた体制を整えている。 ・安否確認訓練、避難訓練のほか、衛星通信を用いた情報伝達訓練を定期的実施するとともに、BCP対応フローに沿った初動対応訓練等も行い、災害対策のイメージトレーニング及びBCPの検証を行っている。 ・BCM推進会議を設置し、事業継続マネジメント体制を整備している。 ・社員が円滑に災害対応業務にあたるよう、衛星電話システム等の各種マニュアルを作成している。 ・本社と全ての6営業所においてBCPを作成しており、会社が一体となった体制を構築している。

【更新(2回目)】 ※平成29年度に初回認定

認定番号	事業所名	所在地(業種)	主な取組内容
6	株式会社 ファインステージ	高松市円座町1050番地1 (保険業)	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP委員会を設置することで、定期的にBCP運用をチェックし、見直しできる体制を構築している。 ・停電時にもノートパソコンやタブレットを使用できるよう、発電機等の予備電源を複数確保している。 ・絞り込んだ重要業務に関するデータについては、システムに接続できない場合に備え、プリントアウトして紙でも保有している。 ・同じ業務システムを使用している県外の保険代理店と災害時の相互応援協定を締結している。 ・WEB会議や情報共有システムの導入によりテレワークを推進しており、災害時にも事業を継続する体制が整備されている。
7	高松帝酸株式会社	高松市朝日町五丁目14番1号 (製造業)	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ素ガス研究センター(浸水予想より高いが安全のため70cm嵩上げて建設)の事務所部分の2階に本社災害対策本部を設置することとしている。 ・安全な立地の外部データセンターにサーバーを收容し、被災リスクの低下を図っており、災害時にはどこからでもサーバーにアクセスして業務ができるよう、必要な社員にはタブレットを配布している。 ・同業他社や関連会社及び燃料供給先と協定を締結し、災害時のバックアップ体制を構築している。 ・災害拠点病院と締結している「災害時における酸素提供協力に関する協定」による要請に迅速に対応できるよう、酸素濃縮器等をあらかじめ在庫として保有し、訓練を実施して災害に備えている。 ・災害時でも事業が継続できるよう、医療チームを細かく分け、酸素充填工場も4拠点に分離させ、リスクを分散している。

8	株式会社モクラス	三豊市詫間町 詫間2112番地 35 (製造業)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要製品の「顧客別」、「社会的責任」、「代替生産可能度合い」という3つの基準を設けて重要業務の優先順位を選定している。 ・毎月、短時間であっても月初にBCP勉強会を開催し、従業員の意識・知識向上を促進している。 ・災害安否確認システムを導入しており、日頃から従業員への操作訓練を行っている。 ・BCP策定・運営委員会によるBCPの見直しを3ヶ月ごとに実施し、BCP改定の必要性及び運用のチェックを実施している。 ・感染症対策のマニュアルを策定し、感染拡大時に備え、時差勤務の環境も整えている。
9	株式会社五星	三豊市高瀬町 下勝間670番 地1 (サービス業)	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員自ら災害時の対応を考えてもらう訓練を実施し、従業員との対話を通じて得られた意見を反映したBCPを策定している。また訓練のマナー化を防ぐため、予告なしで実施するなど工夫をしている。 ・車内に防災用品を常備し、社有車運転中に災害が発生した場合にも備えている。 ・県内及び県外の協力会社と災害時における支援協力に関する協定書を締結している。 ・(一社)香川県測量設計業協会及び(一社)建設コンサルタンツ協会四国支部が、県や四国地方整備局と締結した協定に基づく協力を含めたBCPを策定している。 ・感染症対策として、ペーパーレス化やWEB会議システムの導入を推進し、テレワークの環境を整えている。感染症発生時の情報管理についてもBCPを策定している。
10	株式会社 北四国グラビア印刷	観音寺市栗井 町755 (製造業)	<ul style="list-style-type: none"> ・被災時に限られた電力で優先して稼働させる機械設備を容易に判断できるようにするため、機械設備の動力源、使用電力量、代替手段等をあらかじめリスト化し、災害時に迅速に対応できるようにしている。 ・自社工場の被災時にも取引先に製品を供給できるよう、県外の同業他社と災害等における製造委託契約を締結しており、緊急時に使用できる倉庫も確保している。 ・災害時には近隣の避難所を支援するため、可搬式発電機の貸出や配送用車両を提供する体制を構築している。また、会社敷地・建屋の一部を地域の自治会に一時避難所として提供することとしている。 ・感染症対策としてWEB会議システムやテレワーク環境を整え、活用している。また、感染拡大時には職種別に勤務場所(部屋)や食堂の席を分けるなど、感染拡大リスク低減措置を取っている。

(認定番号は受付順)